

31 「愛」と「信」お返しの生活

現在の岩手県遠野市に、いわゆる姥捨山伝説と趣を異にする棄老伝説が伝わっています。民俗学の権威・柳田国男がそれを『遠野物語』に収録しています。

「山口（以下村名地区名七カ所を略）……土淵村に蓮台野れんたいのという地名あり。昔は六十をこえたる老人はすべてこの蓮台野へ追いやるの習いありき。老人はいたずらに死んでしまうこともならぬゆえ、日中は里へ下り農作して口を糊ぬちしたり。そのために山口、土淵あたりにては朝に野らに出づるをハカダチといい、

夕方野らより帰るをハカアガリというと言えり」(同物語、一一一話)。

伝説とはいえ、悲しくも尽きせぬ想いに誘われます。古代、しかも冷害連続も普通のこの地方では、乳児はともあれ恩深い高齢者に対し口減らしはとても出来ない。苦心の結果、里近い湿地帯の一角に高齢者に集まってもらい、共同生活を営みながら、やがて訪れる自然死を待つ。当然、家族は少ない分け前を運んでいたでしょう。この蓮台野の制度はいわば老人ホームの祖型。高齢者への愛と社会維持の間に立って苦しい選択だったのです。古代の「老人問題」とわが老後の処し方という「老後問題」との、次善の解決といえましょう。

さて、現代の一大問題は「老人問題」。生産性なき大量の老人が長寿する、年金も医療費も増大する一方、大変なことになったとするのが「老人問題」です。この思想は棄老精神と根を一つにしています。

こうした高齢者を目して、「その最後の十五年ないし二十年の間、もはや一個の废品でしかないとする事実、われわれの文明の挫折を明示している。この言語道断な事実を白日の下に示すべきだ。この恵まれない老人の境涯に努力

集中することによって、ようやく社会を根底から揺るがすことに成功する」と、ボーヴォワールは人類に訴えました。

この時代に「高齢者、われ如何に生くべきか」。まさに、新しい「老後問題」の発生です。われわれに尊厳ある主体的な生き方が果たして可能か？ 可能にするために、われ何をなすべきか？ それが「老後問題」の本質です。

たしかに「体制を無傷のままに放置して、単なる改良だけでは、人間であり続けることの出来る社会体制はこない」と、またボーヴォワールは警告します。そのためのわれわれの日々の努力もまた必要です。

奈良県・吉田寺はポックリ信仰で有名です。死ぬ時は老醜を見せずポックリ死にたい、という願掛け。老衰死に対する、こんな否定的態度は、老いても尊厳を保ったまま終わろうというつもりでしょうが、しょせんは老いへの冒瀆です。老いを正面から引き受けることこそ、人間の尊厳の本道です。この一点こそが真の老人問題と老後問題の解決の出発点です。糞尿ふんちように包まれる、大したことではない。晩年のおしゃかさまがそうでした。良寛さんの歌にも――

ぬばたまの夜はすがらに糞まり明かしあからひく昼は厠かわやに走り敢あえなくに

第二点。子にとって親はただ生きてくれるだけで最高の価値と言います。

「老年を生き抜くこと自体が絶対価値」とする思想も根深く存します。

人間は意味を持つ存在。意味とは余力ある限り、ひとに寄与する存在であるということ。だから仮りに表面は寄与する力を失っているようにみえても、人間としての価値が減殺されることはありません。

ふり返ると、一瞬のわが人生にすぎません。しかし、何と無量無限のひとの愛と世話で生かされていることでしょう。

私が受けたものと私が与えたものとを比べると、私たちは明らかに与えることの少ないマイナス、負の存在です。だからこれからの余生、少しの力残す限りお返しに生きよう。何も出来ないと見られても、許し、祈り、想い、感謝、感動、今わの際きわでは合掌することも出来ず。それは自分以外のもの、自分を超えたものへの愛と信です。それは人間最後においてもなしうるお返し、人間

総決算の自己決断です。

老人を客体的に扱う老人問題解決には社会体制の根本的変革が一大前提です。同時に老人いかに生きるかとの主体的な老後問題は、まず高齢者自身がお返しのある、主体的な生活をするものでなければなりません。

〔注〕—

蓮台野伝説について、私の教え子（岩手師範）の菊池サクさんよりのお便りの一部。

蓮台野と呼ばれる土地も名も実在していません。遠野市内には蓮台野が何か所もあり、柳田先生に話をした佐々木喜善の生家の近くにも、草原になつて残っています。

土淵町（昔は村）は私が昭和二十一年、初めて教員になって着任した土地です。

「ハカダチ」「ハカアガリ」は蓮台野とは関係のない方言です。

ハカダチ||仕事に早く着くという意味。または仕事をたくさんするという意味。前者は「早く立つ」、後者は「量立つ」。

ハカアガリ||早く仕事を終えて家に帰るという意味。または仕事の量をたくさんするという意味。前者は「早く上がる」、後者は「量上がる」。